

近畿のいま 課題

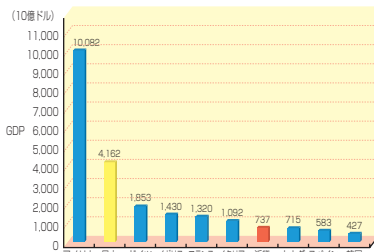
1 産業再生・都市再生による著しい経済活力の低下からの回復

近畿は、2,200万人注1)を超える人口やカナダ一國に匹敵する経済規模を有する一方で、近年全国水準を上回る高い失業率に象徴される著しい経済活力の低下に見舞われました。このため、学術研究・産学官連携・民の創意等豊かな創造性の気風を活かし、ライフサイエンスや次世代ロボットをはじめ国際競争力のある産業の創出を進めるとともに、中心市街地の活性化、国際物流拠点や広域交通ネットワークの整備等を通じ、地方都市を含めた都市の再生と地域連携による経済活力の回復を進める必要があります。

注1)三重県含む

カナダ一國に匹敵する近畿の経済規模

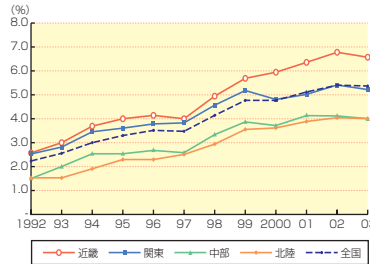
近畿のGDP規模の比較



注) 近畿：福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県
資料：「県民経済計算」内閣府
[Population and Vital Statistics Report 2001] United Nations

全国水準を上回る高い失業率

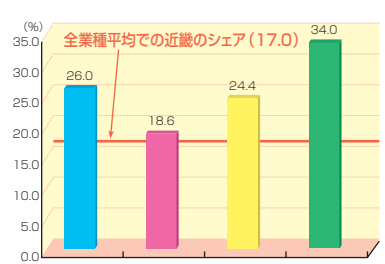
完全失業率の推移



注) 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
資料：「労働力調査報告」総務省

製薬関連産業の集積は近畿の強みの1つ

製薬関連主要製品の出荷額の全国シェア



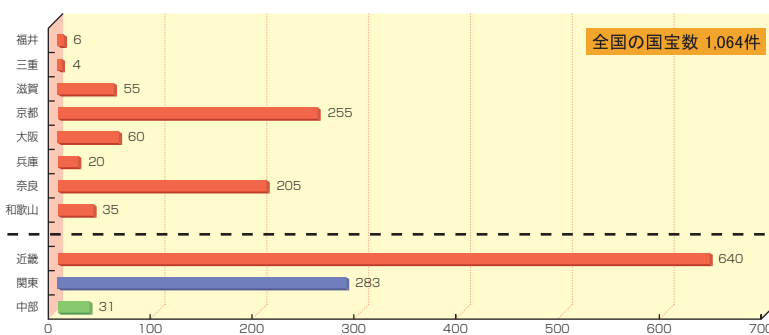
注) 近畿：福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
資料：「工業統計表(2000年)」経済産業省

2 歴史的文化的資産や国際交流の伝統を活かした魅力ある街づくりと観光振興

我が国随一の歴史的文化的資産の集積やアジアを中心に我が国の国際交流をリードしてきた伝統をより一層活用するため、魅力あるまちづくりと観光振興等により国内・海外との交流拡大を図り、人々が集いにぎわう地域づくりを進める必要があります。

国宝の6割が集積する近畿

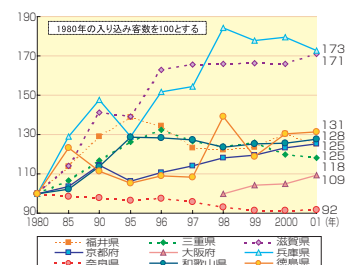
国宝数



注) データは平成16年5月1日現在
近畿：福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県
関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
中部：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
資料：文化庁

増加する交流人口

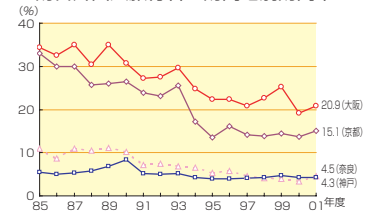
観光入り込み客数の伸び



注) 各府県の発表値に基づく。大阪府は1997年まで統計がないため1998年基準の指数
資料：「全国観光動向」(社)日本観光協会

低下する外国人の訪問地シェア

訪日外国人旅行者の訪問地別訪問率



資料：「訪日外国人旅行者調査」国際観光振興会(JNTO)

現在、近畿では経済指標が一部上向くなど明るい兆しが見えてきています。今後、さらに活力ある近畿が再生するためには、近畿の個性を最大限に活かしつつ、元気あふれる魅力的な地域となるよう取り組んでいくことが必要です。

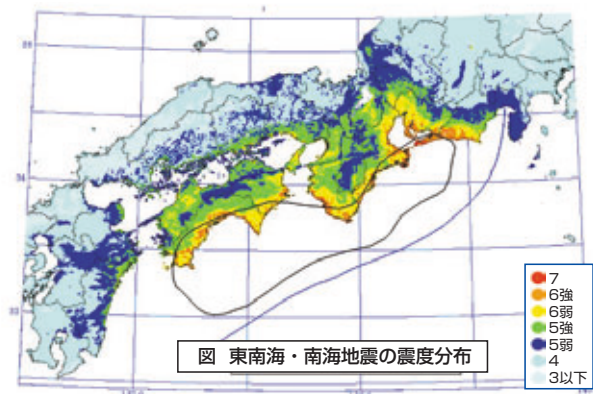
このページでは、近畿の現状と課題について4つのテーマを挙げ、それぞれについて解説します。

3 東南海・南海地震等様々な災害や危機に備えた防災・危機管理対策

低平地に人口・資産が高密度に集積している等災害に対して脆弱な地域であることや、東南海・南海地震等の危険性を踏まえ、阪神・淡路大震災の教訓を活かしつつ、府県を越えた広域防災への取り組みを推進するとともに、風水害・雪害等さまざまな災害に強いまちづくり、地域づくりを進める必要があります。また、様々な危機に対応するため、危機管理体制の強化を図るとともに、住民の危機意識の向上を図る必要があります。



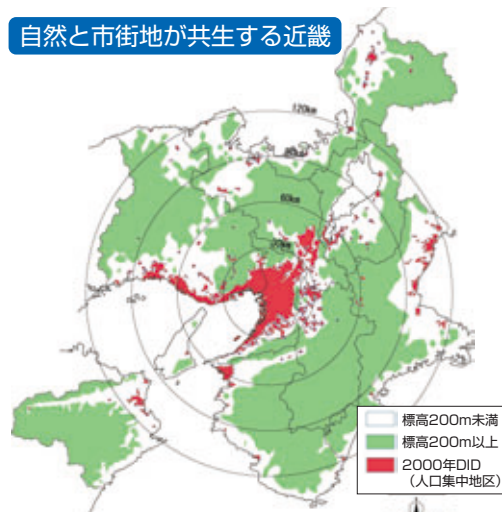
資料：政府地震調査委員会による資料
東南海・南海地震の想定震源域



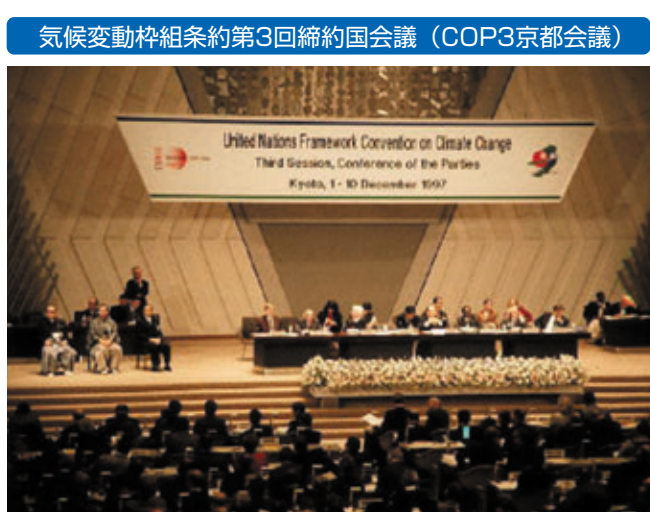
資料：中央防災会議専門調査会による資料
東南海・南海地震の想定震度

4 環境の時代をリードし、身近な自然と共生した美しい地域づくり

地球温暖化防止京都会議（COP3）や世界水フォーラム等の国際会議開催の実績を活かし、環境分野で世界をリードする地域を目指すとともに、地域レベルでの環境意識の高まりを踏まえ、身近な自然と共生した持続可能で美しい地域づくりを進める必要があります。



近畿の地形と人口集中地区



1997年12月開催